

平成 28 年度 認知症声かけ訓練の様子 (2か所)

1. 赤塚地区 (H28.7.16)

【医師による講義】

コミュニケーション（対話）の仕方について学びました。



訓練の説明を受けた後、グループごとに訓練ポイントへ出発します。

グループごとに1つチェックリストと地図を持って、声かけ役、観察役、記録役をローテーションして回ります。参加者は黄色い腕章を身に着け、訓練ポイントにいるポイントを表すゼッケンをつけたスタッフとのぼり旗を目指して移動します。



訓練ポイント①

赤塚並木調剤薬局にて

70歳代の女性。

夫はすでに亡くなっているが、夫がいないことを仕事から帰ってこないと思い、夫のカバンを持って薬局と外をウロウロとして探しています。



訓練ポイント②

下赤塚診療所前

86歳の女性。

サルのぬいぐるみを背中に背負い、「子どもが息をしていないの」とオロオロしています。



訓練ポイント③

赤ニコ広場

高齢の男性

上はワイシャツにジャケット、下はパジャマのズボンのまま、カバンを持ち、お店を出たり入ったり、ソワソワしています。

どこかへ行きたいようですが、迷っているようです。



訓練ポイント④

眼鏡市場 板橋下赤塚店

80歳代の女性。

暑い季節に合わない服装で、スリッパを履き、買い物かごを持っているが中身は巾着袋1つ。どこかに行こうとして、ウロウロとして迷っているようです。



訓練ポイント⑤

若年性認知症の男性。

ここではあまり見かけない人が、ずっと同じ場所をウロウロとしているようです。ポケットに赤い紐がついた連絡先が書いてある名札が見えています。



集会所に戻り、各グループで振り返りと意見交換をし、地域での見守りに必要な事を話合しました。

最後に、高島平警察署より110番通報についてお話を伺いました。

質問も多く、良い機会になりました。



2. 仲町地区 (H28.11.12)

【声かけ訓練に出掛ける前に】

今回の声かけ訓練の前に、希望者は認知症サポーター養成講座を受講しました。

当日は、認知症サポーター養成講座で学んだ「3つのない」「7つのポイント」を思い出し、訓練の説明(寸劇)を見てから、グループごとに出発します。

グループごとに1つチェックリストと地図を持って、声かけ役、観察役、記録役をローテーションして回ります。参加者は黄色い腕章を身に着け、訓練ポイントにいるポイントを表すゼッケンをつけたスタッフとのぼり旗を目指して移動します。



訓練ポイント①

セブンイレブン板橋仲町店

70歳代前半の男性。

コンビニの駐車場でイライラした様子で行ったり来たりしています。



訓練ポイント②

クローバーのさと

70歳代の女性。

履物がスリッパとサンダル、破れたスーパーの袋に石ころをたくさん入れて持っているようです。



訓練ポイント③

仲町防災さざんかの広場

若年性認知症の人。時々、外に出ては仕事に行こうとするようです。スマートフォンを持っていますが使い方が分からないようです。



訓練ポイント④

仲町町会 防災倉庫前

80歳代女性。

パジャマにスカート、バッグを持ち、
行ったり来たりしているようです。



地域センターに戻り、各グループで振り返りと
意見交換をして、地域での見守りに必要な事を
話合いました。



最後に、板橋警察署より110番通報に
ついてお話を伺いました。

